

上半期イベント

4/10 紅花・タデアイの種を蒔こう!



古代から天然染料のもとになる植物として重宝されてきた紅花とタデアイの種を曽根丘陵公園内の畑に蒔きました。夏に花と種と葉を収穫します。



▲みんなで種を蒔きました。



▲大きくなあれ!

5/15 史跡文化財セミナー 塩山下小田原上条集落を歩く

昨年「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された「上条集落」を歩きました。五月晴れのすがすがしい青空の下、昔ながらの突き上げ屋根の家屋やまっすぐな古道の残る集落を巡りながら、初夏の里山を堪能しました。



▲ひたすらまっすぐな参道



▲みんなで集落を見渡す

7/31 史跡文化財セミナー 下吉田を歩く

「下浅間」として知られる小室浅間神社をはじめとした富士山信仰にまつわる寺社や、昭和のレトロな風情を味わえる商店街など、信仰と文化の織りなす懐かしい街並みを堪能できる下吉田の町を散策しました。



▲小室浅間神社の神馬



▲富士の絶景を拝見し、出発!



如来寺で解説して
いただきました☆

※次回は平成29年3月12日(日)

身延町「本遠寺周辺を歩く」です。開催日の1ヶ月前からホームページおよび電話にて申し込みを受け付けます。

5/22

縄文土器で拓本しおりをつくろう!

本物の縄文土器のカケラを使って拓本を採り、オリジナルのしおりをつくりました。今年は春季企画展に関連して、一の沢遺跡と酒呑場遺跡の土器片も新たに登場! 考古学者気分楽しく拓本採りに挑戦しました。



▲酒呑場遺跡の土器片



▲今回は朱肉も使いました。

Q & A

縄文問答「なるほど! 考古博」

縄文時代のさまざまな疑問に答える縄文問答。大きな講座では質問しにくい素朴な疑問や謎についてみなさんと対話しました。

6/12

第1回 縄文人とイノシシの話
講師: 元埋蔵文化財センター
所長 新津 健 先生
展示室で解説する新津先生▶



7/24

第2回 有孔罌付土器の話
講師: 当館協力会会長 長澤 宏昌 先生
※第3回は12月4日(日)「縄文土器文様の話」です。
会場: 考古博物館エントランスホール
時間: 午後1時30分~3時
事前申し込みは不要です。お気軽にご参加ください!

6/26

山梨の七夕人形をつくろう!

昭和の中頃まで、山梨で作られていた七夕人形をつくりました。ヒラヒラと長い脚をなびかせた独特な形の人形は、泥棒よけや家守りなどとして古くからおまじないの意味をこめて作られていたそう。みんなは上手にできたかな?

大きな笹に
願いを込めた短冊を
飾りました☆
七夕飾りの展示
6/1~8/9



▲七夕飾り (笹)



▲七夕人形つくったよ。

夏休み スタンプラリー イベント

7月16日(土)

▶▶ 9月5日(月)

今年も夏休みスタンプラリーイベントを開催しました。県内の小中学生を対象としたこのイベントには、県立の博物館・考古博物館・美術館・文学館・近代人物館・ジュエリーミュージアムの6館が参加し、毎年さまざまなアトラクションが各館で催されています。考古博物館では右記のイベントメニューのほか、今年は展示室内をめぐるクイズラリーも企画し、来館した子どもたちに挑戦してもらいました。参加賞として9種類の缶バッジを用意しましたが、いずれもどれにするか迷うほどみなさんに気に入っていただけたようでした。

イベントメニュー

- ☆青銅鏡をつくろう!
- ☆とんぼ玉をつくろう!
- ☆勾玉・大珠をつくろう!
- ☆ペーパークラフトをつくろう!
- ☆キーホルダー&マグネットをつくろう!
- ☆プラバン・ストラップをつくろう!



館内クイズラリー

缶バッジの1種→
「こぶんくんバッジ」



ペーパークラフト



キーホルダー&マグネット作り



職場体験

毎年夏休みのシーズンになると、県内の各中学校から生徒たちが職場体験にやってきます。今年は10校19名の中学生たちが数日間にわたって考古博物館と県埋蔵文化財センターの仕事を体験してくれました。



▲使い方を伝授!



▲本物の遺物を間近に見られる



▲小学生に展示解説中!



▲展示品について真剣に学んでいます

職場体験では、夏休み中のイベント補佐や展示解説、バックヤード見学のほか、埋蔵文化財センターでの遺物洗浄や整理、発掘体験などを期間に際して担当してもらっています。初めは緊張でぎこちなかった生徒たちも、最終日には考古博物館の一員として堂々と振る舞えるようになっていき、指導する側としても学ぶことの多い期間となりました。今後も引き続き職場体験の受け入れを行っていきますので、ぜひご活用ください。

学芸員実習

8月2日(火)~8月12日(金)の期間、大学生を受け入れての学芸員実習を行いました。今年度の参加者は1名でしたが、例年通り、考古博物館の事業にかかわるさまざまな職務や実際の学芸員の働く様子などを学んでいってもらいました。夏休み中ということで、子ども向けのイベントや中学生の職場体験とも重なり、幅広い年齢層の方と関わる機会となったようです。



▲職場体験中の生徒と一緒に



▲夏休みイベントの手伝いもしました

春季企画展

★お肌のキレイな縄文土器
～一の沢遺跡と酒呑場遺跡～

2016.4.23.SAT-6.12.SUN

この春の企画展ではいつもと少し視点を変えて、山梨の縄文土器が誇る「お肌の美しさ」に注目しました。そもそも山梨では不純物の少ない良質な粘土が採れることから、なめらかで肌理（キメ）の細かい土肌をもつ土器がたくさん見つっています。中でも、本展のタイトルでもある一の沢遺跡（笛吹市）と酒呑場遺跡（北杜市）から出土した土器は、表面の土肌がひときわ細やかで、内側までなめらかに磨き上げられている様子がガラス越しでも見て取れます。その思わず触れてみたくなるほどの質感を見ていると、山梨に生きた縄文人たちが、細部まで強いこだわりをもって土器製作に取り組んでいたことが想像できます。造形的な美しさにとどまらない、縄文土器の新たな魅力について考える機会となりました。



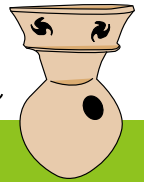
▲顔面把手付土器・顔面部
重要文化財 一の沢遺跡



▲一の沢遺跡出土土器 重要文化財

夏季企画展

山梨のはにわ
～埴輪から見た古墳時代の地域社会～



2016.7.16.SAT-8.28.SUN

みなさんは埴輪（はにわ）というと、どんな形のことを思い浮かべるでしょうか。埴輪は大きく円筒埴輪（壺形・朝顔形埴輪を含む）とそれ以外の形象埴輪に分けられますが、一般にイメージされる埴輪は、踊る人の姿や馬などの動物の姿をかたどった形象埴輪に分類されるものが多いです。しかし、山梨県ではそうした形象埴輪はほとんど見つかっておらず、かわりに埴輪の中でも最も基本的な形である円筒埴輪や朝顔形埴輪、壺形埴輪などが古墳から出土しています。本展では、土器から埴輪へと変遷していく転換期の壺形土器に端を発し、甲斐銚子塚古墳をはじめとした巨大な古墳の造営とともに生み出された大型の埴輪や、県内各地の古墳から見つかった貴重な埴輪のかげらをあわせて展示し、埴輪から見た山梨県の古墳時代について紹介しました。



▲埴輪の違いを観察中



▲幼稚園生も埴輪に夢中!?

平成 28 年度 館長講座 「金銀山遺跡の考古学」

山梨県立考古博物館では、館長・萩原三雄による講座を全6回の予定で開催しています。今年度は「金銀山遺跡の考古学」をメインテーマとして、県内の金銀山遺跡に関する最新の発掘調査について講演しています。

- 第1回 4月23日（土）『黒川金山遺跡』と『湯之奥金山遺跡』の発掘調査
- 第2回 6月18日（土）『丹波山金山遺跡』の発掘調査
- 第3回 8月20日（土）「鉾山臼と粉成（こなし）のシステムの研究」
- 第4回 10月29日（土）「製精錬の研究（灰吹法・焼金法・溶解）」
- 第5回 12月17日（土）「金付着土器の発見」
- 第6回 2月25日（土）『甲州金』の成立への技術的過程

※各回とも午後1時30分～3時、風土記の丘研修センターで開催しています。事前予約は不要です。



平成 28 年度 考古学講座「古代の甲斐」

毎年好評の考古学講座、今年は「古代の甲斐」をメインテーマに据え、律令制度の下で中央による地方支配が進められた奈良・平安時代の甲斐の国について全4回の日程で講演しました。近年、山梨で発見された新たな知見を織り交ぜながら、各回ごとのテーマを設けて山梨の古代について学びました。

- | | | |
|---------------------------|-----------------|---------|
| 第1回 6月4日（土）「古代の甲斐と考古学：総論」 | 講師：（公財）山梨文化財研究所 | 平野 修 氏 |
| 第2回 6月25日（土）「古代の木材利用」 | 山梨県考古学協会 | 御山 亮濟 氏 |
| 第3回 7月16日（土）「古代の道と駅」 | 富士河口湖町教育委員会 | 杉本 悠樹 氏 |
| 第4回 8月13日（土）「発掘された牧」 | 北杜市教育委員会 | 佐野 隆 氏 |



第14回わたしたちの研究室

作品を募集
します！

考古博物館では、小中学生を対象に歴史・考古学分野に関する研究成果を募集しています。これは身近な郷土の歴史を学び、その研究成果を表彰・発表する機会を設けることで、児童・生徒のみなさんの考古学への興味・関心を深めるきっかけを作るとともに、自ら考え、まとめる力をつけることで「調べ学習」から一歩進んだ主体的な研究活動につなげる機会を提供することを目的としています。本研究室では、実際に現地へ赴き、自分の足で調査・考察する過程を重視しています。学校や家を飛び出して、ぜひ本物と出会い、触れた体験を通して自由な発想で研究してみてください。

部門：(1) 個人研究部門 小学校の部および中学校の部

※数名のグループの作品等は個人研究部門とします。この場合「総合的な学習の時間」等において取り組んだ2～3人の作品等を含みます。

(2) 団体研究部門

学級・学年・学校(部活動等を含む)で取り組んだ作品等、または統一したテーマのもとで取り組んだ児童・生徒の個人の作品等を取りまとめたもの、もしくはその指導過程をまとめたもの。

募集期間：平成28年10月1日(土)～12月4日(日)

表彰：各部門それぞれ・最優秀賞1点(山梨県教育委員会教育長賞)、優秀賞(山梨県考古学協会会長賞)2点

努力賞(山梨県立考古博物館賞)若干、奨励賞(わたしたちの研究室選定委員会委員長賞)若干

表彰式：平成29年2月5日(日) 考古博物館エントランスホール(上位受賞者は表彰式後、作品等の発表をしていただきます。)

展示期間：平成29年2月11日(土)～3月5日(日) 考古博物館企画展示室

○作品等は展示会終了後に返却しますので、3月7日(火)以降に引き取りに来館してください。その際に参加賞などを併せてお渡します。

○各部門の最優秀賞・優秀賞に選定された作品等は、以降1年間、当館の事業等で紹介いたしますので、引き続きお預かりします。

その他：①「応募申込書」(様式1)、「展示用説明書」(様式2)は、当館ホームページからダウンロードできます。

②昨年度の様子は当館ホームページにて公開しています。

③学校から応募されたものはすべて学校を通じてご連絡します。ただし、報道機関等から対応を求められた場合もしくは当館からの簡単な事務連絡等は、直接連絡することがあります。

考古博物館・風土記の丘研修センター利用のご案内

山梨県立考古博物館 TEL 055-266-3881 FAX 055-266-3882

開館時間 午前9時から午後5時まで
ただし、入館は午後4時30分まで

休館日 毎週月曜日(祝祭日・振替休日を除く)
祝日の翌日(日曜日・祝日を除く)
特別展の準備・撤去作業のため9月20日(火)～9月27日(火)、11月24日(木)～11月29日(火)は臨時休館いたします。

観覧料 個人210円、団体(20名以上)170円
(常設展)

※次の場合観覧料が免除になります

- ・65才以上の方(ただし、特別展は県外の方を除く)
- ・障害者手帳をお持ちの方・付き添いの方(1名まで)
- ・小・中・高校生
- ・県民の日(11月20日)

県内の学校(団体)の利用について

- ・教育課程(小・中学校、高等学校、特別支援学校)で入館される場合は事前に見学申し込みをお願いします。
- ・見学時間を充分にとり、ゆっくりと見学できるようにしてください。
- ・できるだけ下見をし、担当と打ち合わせをしてください。

学校見学の申し込みと問い合わせ先
055-266-5286 風土記の丘研修センター

交通

(1) 路線バスの利用

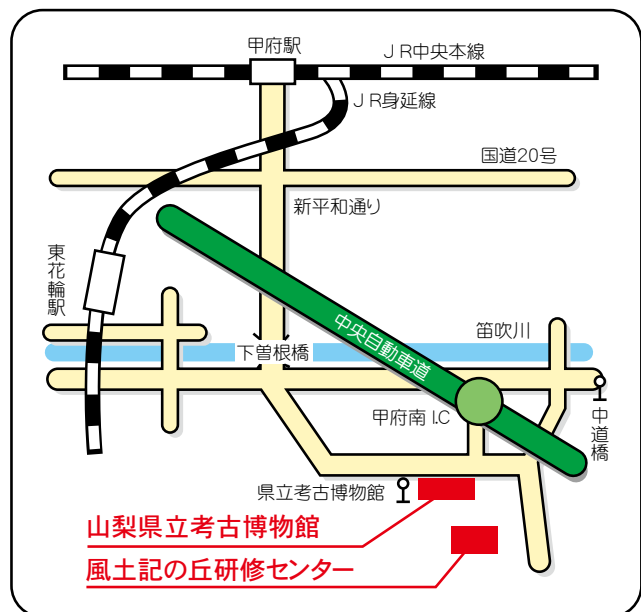
- ・甲府駅より豊富行(中道橋経由)→「県立考古博物館」下車
- ・甲府駅より市立甲府病院行→市立甲府病院で下車乗り換え・富士急平和観光バス古閑町行→「風土記の丘産物直売所」下車

(2) 自家用車の利用

中央自動車道甲府南インターチェンジ前

風土記の丘研修センター TEL 055-266-5286 FAX 055-266-5287

休館日 毎週月曜日(祝祭日の場合は翌日)、祝日の翌日
12月29日から1月3日



山梨県立考古博物館

風土記の丘研修センター

厳しい残暑の続く中、朝夕の風に秋の気配を感じる季節になってきました。平成28年度上半期の活動をお知らせする考古博物館だより82号をお届けします。9月からはいよいよ第34回特別展「よみがえる武士の魂―鎌倉・平泉と甲斐源氏の武家文化―」が始まります。この秋は、硬派な一面と情熱的な魂を併せ持っていた「はじまりの武士の物語」をぜひ見いらしてください。(あ)



発行日 平成28年8月26日
発行所 山梨県立考古博物館
住所 〒400-1508 山梨県甲府市下曾根町923
電話 055-266-3881(代)
印刷 株式会社 峡南堂印刷所